
和歌山県水産増殖試験場報告

第 15 号

昭和59年3月

和歌山県水産増殖試験場

和歌山県田辺市

序 言

本年度はマイナス・シーリングの財政状況下において事業種目の整理，統合等前年度事業の見直しを行い，試験研究の合理化，効率化を求められる一方で，沿岸漁業が当面する幾つかの課題の中から，新規に研究課題設定を強いられるという厳しい予算であった。

現在，本県の漁業は依然として低迷状態において，種々の振興策が講じられているが，とりわけ，漁業振興の基礎研究を行う機関としての当场に寄せる期待はより一層大きいものと思われる。

このような情勢を踏まえるなかで，今後，我々としては研究員の共同研究体制を更に充実させ，短い年限内において技術確立を図るべく，研究の質的向上を促進させることが課せられた命題であろう。と同時に現施設が技術革新の時代にふさわしい試験研究施設として整備される必要性を痛感するものである。

和歌山県水産増殖試験場長 田野岡 四郎

目 次

昭和57年度事業の概要	1
総 務 関 係	
1 機構・所掌事務及び人員配置	3
2 職 員	3
3 昭和57年度予算	5
研 究 関 係	
翠川 忠康：サザエ種苗生産試験	6
里森 修・堀江 康浩：ヒラメ体色異常個体出現原因究明試験	10
里森 修：ウミギク種苗生産試験及び生態調査	17
木村 創：カジメ幼芽の付着力試験	24
翠川 忠康：サザエ中間育成試験	28
翠川 忠康：サザエ標識放流試験	35
里森 修：ヒラメ海面小割網飼育試験－Ⅱ	38
里森 修：ヒラメの標識比較試験－Ⅲ	44
里森 修：ヒラメの標識放流調査－Ⅱ	48
木村 創・小川 健：マダイ配合飼料実用化試験	56
小川 健・木村 創：海産魚の防疫対策に関する研究－Ⅲ(抄録)	70
大畑 実：南部町堺地先イセエビ大規模増殖場の効果調査－Ⅲ	72
翠川 忠康：組織的調査研究活動推進事業(抄録)	76
指 導 関 係	
小川 健・木村 創：昭和57年度病魚検査概要	78
小川 健：魚病等実態は握指導	82
資 料	
里森 修：ヒラメの種苗生産及び放流	92
大畑 実・田中 保：クマエビ・フトミゾエビの種苗生産及び放流	96
小川 健・大畑 実：ハモ種苗生産試験	101
中本 良吉：定置観測	104